

みぶりんだより



壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

2021年4月号 Vol.80



■開館時間
火～金 10時～18時
土・日・祝 10時～17時

■休館日
月曜日・年末・年始

★ 〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1
(保健福祉センター内)
★ 電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732
★ E-mail: miburin@bz04.plala.or.jp
★ <http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月みぶりんだより(カラー版 PDF)をメールでお送りします。

WA 広げよう!交流の輪! 理事候補の受付

みぶりん利用者協議会では、役員の改選に当たり理事候補の受付を次のとおり行うことといたしました。理事を希望される方(団体の会員でも可)は期日までにみぶりんに届出書を提出下さるようお願いいたします。

- 提出の期間** 4月10日(土)～24日(土)
午後5時まで
- 提出の方法** 理事候補届出書を、メール・FAX等でお送りください。
- 理事の就任** 理事が確定するのは、令和3年度全体会議後になります。
- その他**
※利用者協議会は年に3回程度を予定しております。
※理事候補届出書は、ホームページからダウンロードしてお使いください。お電話をいただければFAXいたします。

分野別区分	理事選任数
「高齢者・障がい者福祉の増進」	4人程度
「介護施設等」	
「子供の健全育成・社会教育の促進など」	4人程度
「まちづくりの推進・福祉の増進」	
「人権擁護」「災害救援」	
「地域安全」「消費者保護」	
「学術・文化・芸術・スポーツの振興」	3人程度
「健康・医療・福祉の増進」	
「環境の保全・子供の自然体験」	2人程度
「花・植物によるまちづくり」	
「自治会」「子供会・育成会」	3人程度
「コミュニティ・連合会等」「自主防災会」	
合 計	16人程度

お知らせ

藩校サミットでお披露目

大名鳥居家 ゆかりの「赤御堂茶」を摘もう!!

日時▶5/8(土) 9:00～11:00 参加費無料

会場▶川俣邸前茶畠 内容▶茶摘み、赤御堂ツアーリー駐車場▶嘉陽が丘ふれあい広場(上稲葉1056-8)

募集定員▶先着20人(申込受付順)

服装▶歩きやすく汚れてよい軽装。マスク着用。
検温してください。

申込▶みぶりんまで。電話・FAXにて現在受付中です。

問合せ▶鈴木良男 090-4126-8175

協力団体▶壬生町歴史民俗資料館・嘉陽が丘里山の会・懇親会・ショートトイミの杜 主催▶栃木県茶手揉み保存会

壬生UPボランティア 活動支援事業補助金

現在受付中です!

※詳細は2ページをご覧ください。

印刷機利用の予約制に ご協力ください

三密を回避するため皆様のご協力をお願いいたします。

予約時間▶午前10時～午後6時まで(正午～1時までは除く)。1時間単位で予約を受け付けます。

予約期限▶利用する日の前日までにご予約ください。(火曜日に利用する場合は日曜日までにお願いします。)当日来られた方は、予約された方を優先致します。

利用人数▶1団体3人以内でお願いします。

紙折り機の利用▶印刷機で印刷したものはインクが直ぐに乾かないで、1日以上乾燥させてからご利用ください。また、A4の用紙に両面印刷するなどして紙折り機を使わない工夫もお願いします。

出入り口▶南側出入り口

(シルバー人材センター側)をご利用ください。利用の際は、感染症予防対策をお願いします。

- ・日頃の健康管理(検温の実施)
- ・手洗いの徹底や手指消毒
- ・マスクの着用・室内の換気



皆様のご協力をお願い致します。

町民活動支援センターみぶりん利用について

保健福祉センターは、新型コロナウイルスワクチン接種会場に予定されているため、令和4年3月31日(予定)まで会議室(みぶりんミーティングルームを含む)等の貸出しを停止させていただいている。

- 目次
- ②「壬生UPボランティア活動支援事業補助金」募集案内
サロンにて法話 (市村直哉様)
ボランティア推進会議 (南犬飼中学校)
 - ③職業人講話 (壬生北小学校)
「(仮称)壬生町の環境保全とプラごみゼロの会」に決まる
 - ④サロンにて民話の語り (壬生民話ふくべの会)
G・S わくわく (ゲループ・しののめ・わくわく) 発足
サツマイモ植付・収穫体験のお知らせ

「壬力UPボランティア活動支援事業補助金」募集案内

～「壬力UPボランティア活動支援事業」で皆様の活動を支援します～

平成29年度からスタートしました「壬力UPボランティア活動支援事業」を、令和3年度も実施する予定です。皆さんのが実施する事業の支援をすることで、より効果的なまちづくりの推進につなげると共に、各団体の活動の活性化を目指します。詳しい応募要件は下記のとおりです。

【応募資格】「みぶりん」に登録している団体

- ただし、登録していても下記要件に該当する団体等は応募できません。
- ①自治会や自治会内で組織された団体（育成会、自主防災会等）
 - ②会則や規約を有していない団体
 - ③町から既に補助金等の支援を受けている団体
 - ④会員が5名以下の団体（個人登録の方は応募できません）
 - ⑤既に2回補助金を交付されている団体

【助成額】限度額10万円（一団体・年額）

【該当事業】登録団体が町内において主体的に実施する事業で下記に該当する事業

- ◇地域課題の発見・解決を目的とする事業
- ◇町が取組む施策・事業を協働により取組むことで、さらに効果を高めることが期待できる事業
- ◇本町の魅力をPRするとともに、新たな魅力の発見・発掘に関する事業

【募集期間】受付中～4月30日（金）**【問合先】**◆生活環境課まちづくり推進係 ☎0282-81-1888

詳しい資料は
みぶりんに置いています。
また、みぶりんの
ホームページも
ご覧ください。

活動報告

こうあるべきという考えを拭い捨てることが大事 交流館ふれあいいきいきサロンにて 市村直哉氏

3月4日、早春の気配が感じられるふれあい交流館において、交流館ふれあいいきいきサロン（橋本孝一代表）が開催されました。サロンには約20名が参加しました。サロンは、新型コロナウィルス緊急事態宣言などもあり1月から開催できませんでしたが、コロナ感染症対策を行った会場には、しばらくぶりに会員の顔が見られました。

講師に市村直哉氏を迎え、仏法のお話や般若心経の教えなどを分かりやすくお話になりました。西遊記と関係があるのが「般若心経」です。一番大切にしている言葉は、「色即是空」です。「色」は、「つまらないことに執着心を持たないこと」の意です。「空」は、「とらわれない心」の意です。このことを聞いて、人間の心は、本当は大きな働きをしますが、心を何かにとらわれると広い目で見られなくなるという意味のことなのがと思いました。

各種法要などに出席した場合、作法が気になり不安になります。例えばご焼香の回数なども気になるところです。しかし、仏法には決まりはないということです。心を込めて行なうことが大切であり、「こうあるべきという考えは拭い捨てることが大事です。」とお話ししていました。

市村様のお話を聞いて、何か心がすっきりしたような気持ちでした。（みぶりん）



地域を大切にできる子に育ってほしい 南犬飼中学校



南犬飼中学校（江田裕之校長）は2月26日、「第1回ボランティア推進会議」を開きました。新型コロナウィルス禍での開催でしたが、放課後学習サポートや職業人講話、輝光祭などにボランティアとして参加した方々など約20名が参加しました。

職業人講話に講師として参加された方からは、「生徒からのお礼のメッセージに、思いが伝わった

ことが書いてあり本当に感動しました。」また、放課後学習サポートの支援員の方からは、「以前は定期試験の前には大勢の生徒が参加して頑張っていましたが、今年はコロナ禍で応援してあげられなかったのが残念でした。生徒から頂いた折り鶴のメッセージに励まされました。」などの感想が述べられました。

また、「南犬飼中学校の生徒にどんな生徒になってほしいか。」というテーマを基にグループで話し合いました。各グループからは、「地域行事へ参加して地域の方々と顔の見えるお付き合いをしてほしい。」「思いやりを持っていただきたい。」「目標をもって世界のリーダーになってほしい。」「積極的にチャレンジしてほしい。」などの意見が出されました。これらの意見は、今後、学校運営協議会の計画づくりの参考にされることです。（みぶりん）

活動報告

消費者から美味しいイチゴと言ってもらうことが嬉しい！ 子どもたちが出来るようになることがやりがいにつながる！ 職業人講話 壬生北小学校

2月18日、壬生北小学校で、職業人講話が行われました。参加したのは5、6年生24人、お話をして頂いたのは、イチゴ農家の山川真一さん、とおりまち保育園の石島芳恵さんと長島世菜さんでした。

山川さんからは、スカイベリー、とちあいか、とちおとめの3種類のイチゴを実際に持ってきて頂き、イチゴが食べられるまでになるのには15か月かかることや、1本のイチゴの苗から苗を分けて増やしていくことなどの説明を受けました。

代々農家に育ったことからイチゴ農家を継がれたことや、農家のイメージが以前からかなり変わってきたことなどもお話をされました。

また、おいしいイチゴの見分け方や、消費者の方から美味しいと言われるのがとってもうれしいと笑顔で話されました。

保育士の石島さんと長島さんからは、保育園と認定保育園、幼稚園の種類や働き方の違いなどを分かりやすく説明して頂きました。

手作りの手袋で作った指人形を見せて、保育園では、子どもたちに毎日楽しいと思ってもらえるようにすることが仕事で、遊び道具を手作りで作ったり、部屋の中の危険な個所、例えば机の角などにはカバーを付けたりして安全に動き回れるようにしている話をして頂きました。

また、歳の差のある兄弟の世話をした経験から、小さい子とふれあえる保育士になったとのお話をや、保育士の仕事の中で、例えば、小さい子がタオルを絞ることができるようになったり、卒園してからも保護者から、大きくなってこんなことができるようになりましたと言われたりすることが、やりがいにつながっていますなどと話されました。（みぶりん）

◆授業を受けた子どもたちからは次のような感想を聞くことができました。◆

（イチゴ農家さん）

- ・イチゴができるまでほとんど手作業なのがすごく大変そうだったけれど、手作業だからこそおいしいイチゴができるのだと思いました。
- ・お話を聞いて、ぼくも農家になってみたいなと思いました。また、これからも感謝してイチゴを食べたいなと思いました。
- ・今まで当たり前のように食べていたイチゴをつくるのに15ヶ月もかかると聞いて驚きました。農家の仕事は大変そうだけれど、がんばって働いてくれる人がいるから、わたしたちはおいしい野菜や果物を食べられるのだと思いました。
- ・おいしいイチゴをつくるためにたくさん努力をして、消費者の人たちに届けているのだと分かりました。イチゴについて調べてみようと思いました。

（保育士さん）

- ・保育士の仕事に興味があったので、お話を聞いて嬉しかったです。自分の命だけでなく、子どもたちの命も守っていて、とても尊敬しています。
- ・勉強になったことは、子どもたちのためにたくさん仕事をしていることを知れたことです。子どもたちの知らないところでも、子どもたちのためにがんばっていることが分かりました。保育士になりたいと思いました。
- ・保育士は大変そうだけれど、とてもやりがいがあって楽しそうな仕事だと思いました。ますます保育士の仕事に興味がわいてきました。



「（仮称）壬生町の環境保全とプラごみゼロの会」に決定！

町民活動支援センターみぶりん利用者協議会（桑原史朗会長）と「環境の保全・子供の自然体験分野」団体等で進めている、「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」に関する推進会議では、3月16日に第4回会議を開催し、「（仮称）壬生町の環境保全とプラごみゼロの会」を会の名称として今後推進していくことに決まりました。今後は、会則や事業計画案などを策定していく予定です。

また、「東京2020オリンピック聖火リレー」の実施に伴い、3月23日に清掃活動が行われました。



活動報告

民話と手遊びで心も体もリフレッシュ

安塚お達者サロンにて
壬生民話ふくべの会

3月5日、南犬飼地区公民館分館講堂において安塚お達者サロン（薮田宏代表）が開催されました。サロンには約30名の参加者がありました。会場は広く参加者の間隔も十分に取れて新型コロナウィルス感染症対策も十分でした。

サロンでは、最初にラジオ体操を全員で行いました。続いて壬生民話ふくべの会（須藤英子会長）の皆さんによる民話や手遊びなどが行われました。

お話しされた民話は、子宝に恵まれすぎたお話の「子だくさん」や栃木市の満福寺の三鬼尊にまつわる「酒を買いに来た鬼」、「食わず女房」、「鬼むかし」、「福は内、鬼は外」などでした。また、「女の仕事」や「鶴は千年 亀は万年」はユーモアたっぷりのお話で、来場者の笑いを誘っていました。

手遊びは、桃太郎の歌やわらべ歌に合わせて体を動かしたり、手を動かしたりするもので、体の動きと脳を活性化するのに役立つものでした。

参加者の皆さんには、久しぶりのサロンに心と体をリフレッシュさせて、元気を取り戻していました。

（みぶりん）



活動紹介

G・S わくわく(グループ・しののめ・わくわく)発足

この度、ガールスカウト第18団はスカウト減少、会員の高齢化等により団活動を休止しました。しかし、スカウト活動の「奉仕の精神」「自分で考え行動する少女・女性を育てる」を実践して引き継いでいこうと、有志で「G・S わくわく」を設立しました。

活動のひとつに、環境美化として18団が20年以上しののめ公園の花壇の一区画（7年前からは全区画）を借りてやつて来た植栽、管理を引き継いで行います。みんなで春夏・秋冬の花壇のデザインを考え、花の種類、花の色を考えて違った雰囲気の花壇を作り上げる喜びが生じます。しののめ公園ばかりでなく、わくわくする活動を広げたいのでお手伝い頂ける方、大歓迎です。

（戸室・高山・細井様記）



お知らせ



サツマイモ植付・収穫体験 野菜を作る楽しみ、育てる楽しみ、収穫する楽しみを味わおう！

日時▶5月9日(日)9:30～ 植え付け体験

11月3日(水・祝)9:30～ 収穫体験

募集人数▶30組・個人 参加費▶500円／組・個人

★サツマイモの苗3本 (収穫はサツマイモ約10本程度)

農場▶恵川地区処理施設(壬生町大字福和田72番地)西側

服装等▶作業ができる服装、帽子、軍手、長靴、タオル、飲み物等。

申込期限▶4/30(金)

問い合わせ先▶事務局 ☎ 080-1006-9236

主催▶特定非営利活動法人みぶまち地域活性化21

後援▶壬生町・壬生町教育委員会

※マスク着用、
検温をしてきて
ください。



▲サツマイモ会場

☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校

【編集後記】近年の自然災害は、気候変動がもたらすもので、地球の平均気温も今世紀末には1.5°Cを上回るともいわれています。4月は入園・入学シーズンです。桜が咲き誇る道を笑顔の子供連れの親子が歩く光景は、これからも後世に繋げて行くことが我々に課せられた責任かもしれません。

SDGs持続可能な開発目標にも、地球環境や自然環境が適切に保存されることを目的にする行動があります。プラスチックごみ問題にみぶりん利用者協議会も取り組み推進団体の名前も決まりました。一人一人が関心を持って身近にできることから始めてみませんか。